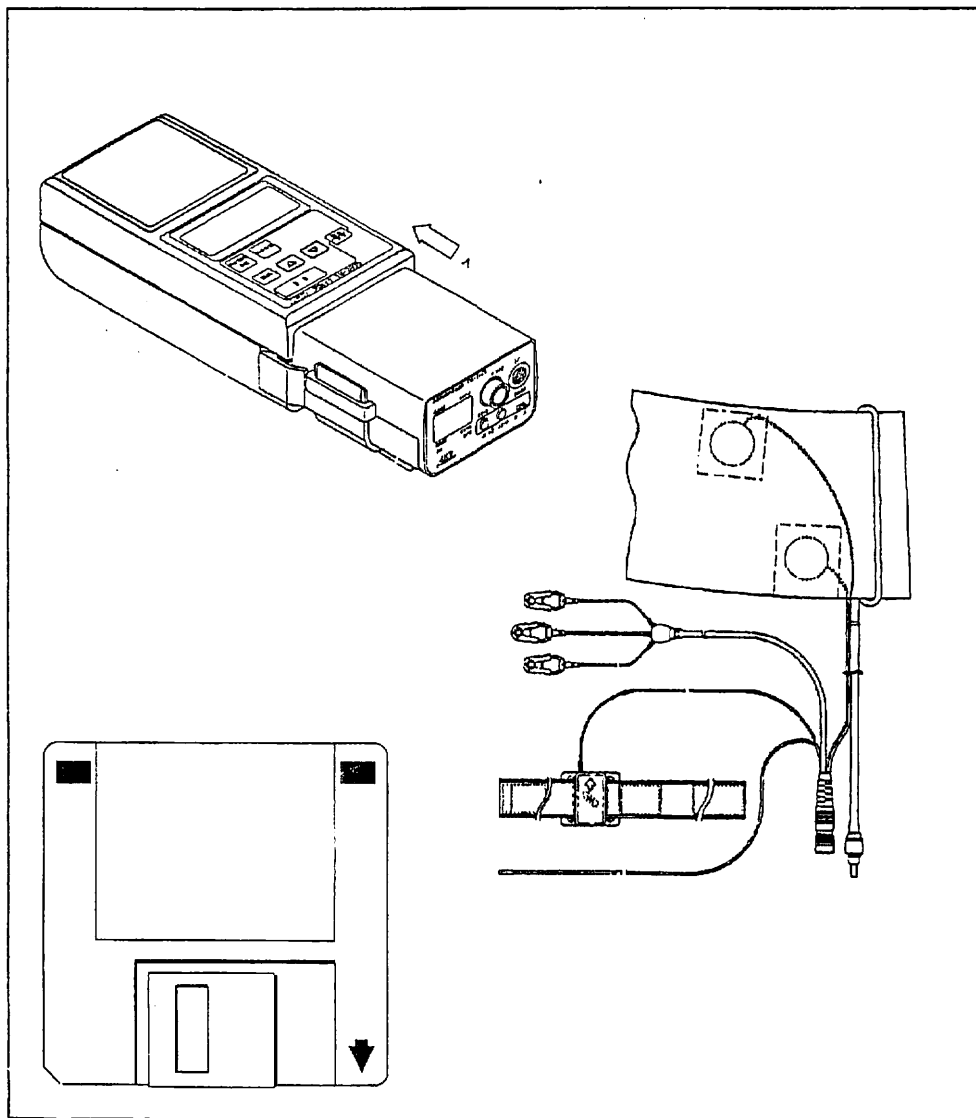


TM-2425/2025

# 携帯型自動血圧心拍計用ソフト

## 取扱説明書



**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

v.1.a

## ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 1993 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

# 目 次

メニューの概略 .....	1
メニューの構成と役割 .....	2
1 環境設定 .....	3
1-1 環境設定の起動 .....	3
1-2 システム設定 .....	3
1-3 ファイル設定 .....	4
2 ファイル指定・登録 .....	5
3 TM2425 データ入力、データファイル作成 .....	5
3-1 データ入力の起動 .....	5
3-2 接続状態の確認 .....	6
3-3 時間モードの設定 .....	6
3-4 患者情報 .....	6
3-5 データセレクトメニュー .....	7
3-5-1 血圧、1分値データ .....	7
3-5-2 血圧、1分値データ、RR間隔データ .....	7
3-5-3 全測定値データ .....	7
4 データ処理 .....	8
4-1 時系列データ表示 .....	8
4-1-1 時系列データリスト .....	9
4-1-2 グラフ表示メニュー .....	12
4-1-2-1 選択グラフメニュー .....	13
4-1-2-2 全てのデータを表示 .....	15
4-1-2-3 グラフ表示の終了 .....	18
4-1-3 ヒストグラム .....	19
4-1-4 データ表示の終了 .....	20
4-2 イベントECG波形表示 .....	20
4-2-1 イベントECG波形表示の起動 .....	20
4-2-2 心電波形の表示(24時間測定モード) .....	21
4-2-3 心電波形の表示(48時間測定モード) .....	24
4-3 データ解析 .....	25
4-3-1 ECGデータ解析の起動 .....	25
4-3-1-1 12分間ECGスーパーインポーズ .....	25
4-3-1-2 RRスペクトラム .....	29

4-3-1-3	RRローレンツプロット .....	30
4-3-1-4	ECGデータ解析の終了 .....	30
4-4	プリンティングレポート .....	31
4-4-1	プリントアウト設定 .....	31
4-4-2	血圧データ設定 .....	31
4-4-3	プリントアウト .....	32
4-4-4	印刷の終了 .....	32

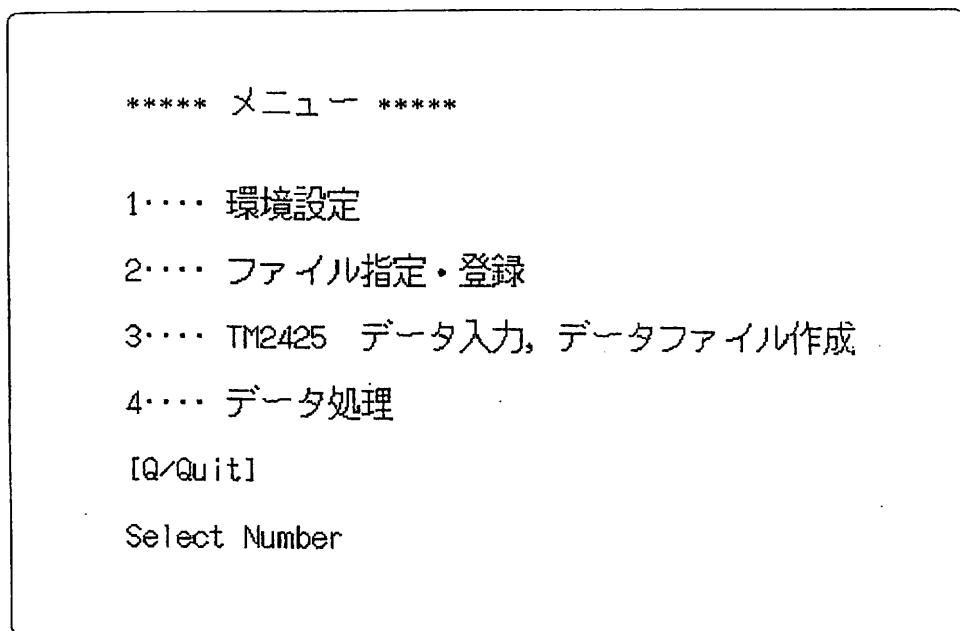
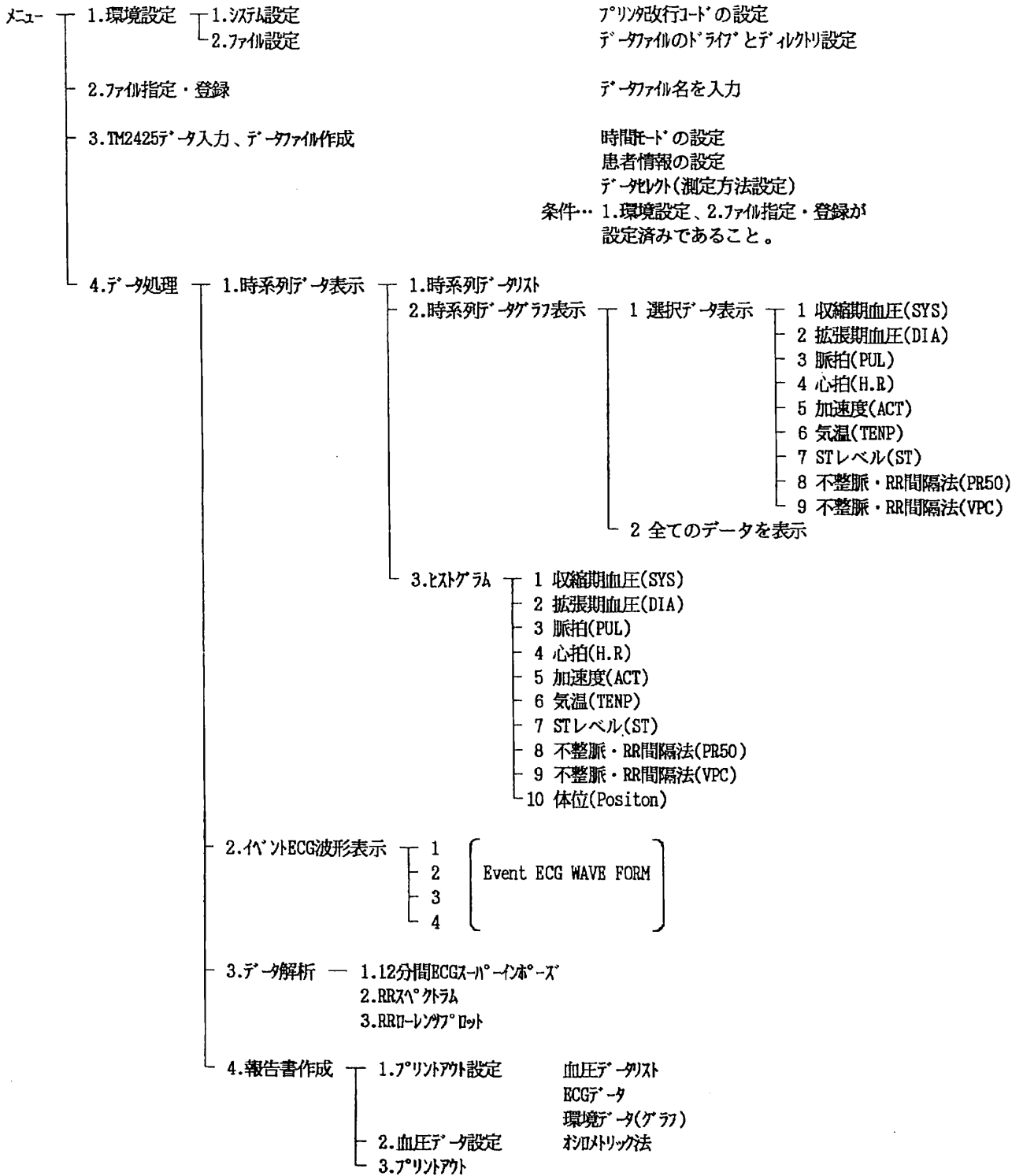


図 1

- 1 ....環境設定 データドライブ（バス）の指定とファイル名の設定を行います。
- 2 ....TM2425 データ入力、データファイル作成  
TM2425で測定されたデータのパソコン上への取り込みと（1）で指定したドライブにデータファイルを作成します。
- 3 ....時系列データ表示  
データのテーブル表示、トレンドグラフ及びヒストグラムを表示をします。
- 4 ....イベントECG波形表示  
イベント入力されたECGデータの波形表示（全波形表示と拡大波形表示）、と1mvの基準パルス波形表示、基準波形表示をします。
- 5 ....プリンティングレポート  
取得データのレポートを作成します。
- 6 ....データ解析  
ECGデータを解析します。
  - ・12分間心電図のスーパーインポーズ表示  
(0.5mm × 24 or 0.25mm × 48)
  - ・RRスペクトラム解析
  - ・RRローレンツプロット表示

※図1の表示で〔Q〕を押すと、データ処理を終了しMS-DOSコマンドの入力待ち状態となります。

メニューの構成と役割



1. 環境設定  
データの保管場所やID番号の設定を行います。

☆操作手順

- 1-1 環境設定の起動  
メニュー（図1）で〔1〕を押すと、図2のように「環境設定メニュー」の表示となります。

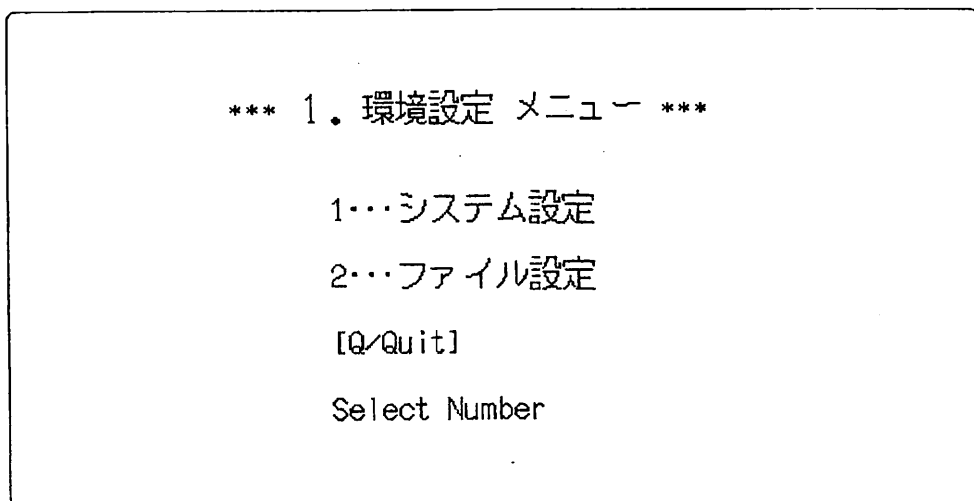


図 2

終了するときは〔Q〕と押してください。メニューにもどります。

- 1-2 システム設定  
プリンタの改行コードを設定します。対応する数字を入力してください。

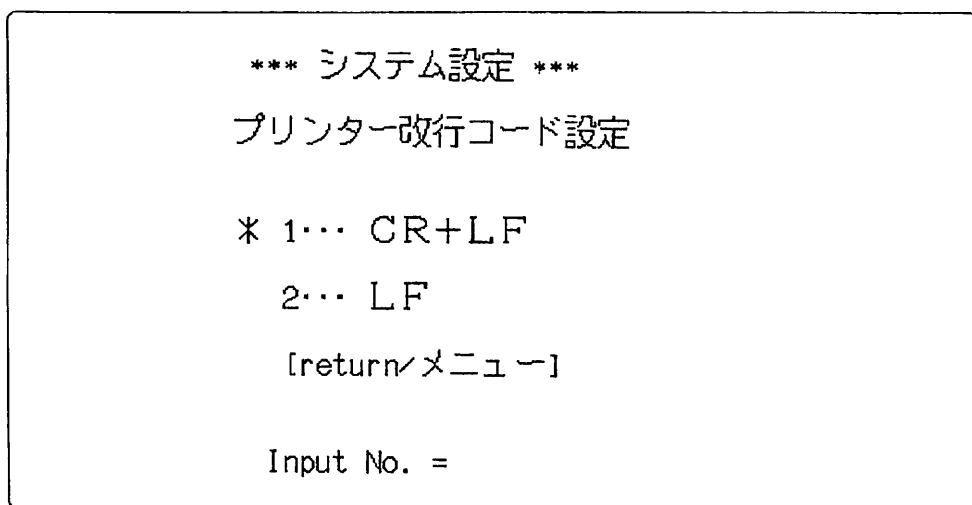


図 3

終了するときは〔Q〕と押してください。メニューにもどります。

### 1-3 ファイル設定

データが保管されているドライブを指定してください。

例： データがBドライブに保管されている場合

B : [RETURN]と入力してください。

\*\*\* ファイル設定 \*\*\*

データディスクのドライブとディレクトリーを設定して下さい。

現在設定されている内容   →    ¥da

[return/メニュー]

新たに設定する内容       →

図 4

終了するときは [Q] と押してください。メニューにもどります。



## 2. ファイル指定・登録

図1の表示で〔2〕を押すと「Input File name」が表示されます。ここで患者のファイル名を入力して下さい。（最高8桁）

例：患者のファイル名が「DEMO」の場合

〔D〕〔E〕〔M〕〔O〕〔RETURN〕と押して入力します。

\*\*\* 2. ファイル指定・登録 \*\*\*

データファイル名を設定して下さい。

[return/メニュー]

Input Filename

図 5

※ファイル指定・登録でファイル名を入力しないときは、図1の4. データファイルと5. データ処理を選択したときにファイル名の入力を求められます。

環境設定の終了

図2の表示で〔Q〕を押すと、メインメニュー（図1）に戻ります。

## 3. TM2425 データ入力、データファイル作成

TM2425で測定されたデータをパソコン上に取り込み、環境設定で指定されたバスにデータファイルを作成します。

\*測定時間モード、患者情報における睡眠時刻はデータ処理に必要ですので必ず入力して下さい。

### ☆操作手順

#### 3-1 データ入力の起動

メニュー（図1）で〔3〕を押すと、図6のようにプロセッサTM2025とパソコンとの接続状態の確認を求められます。

TM2025 contact ok (y/n)?

図 6

### 3-2 接続状態の確認

TM2025とパソコンの接続状態をもう一度確認して、良ければ〔y〕〔RETURN〕を押して下さい。〔n〕〔RETURN〕を押すとメインメニューに戻ります。

### 3-3 時間モードの設定

図6の表示で〔y〕〔RETURN〕を押すと、図7のように測定時間モードの入力を求められます。このとき24時間モードと48時間モードのいずれかのモード〔2〕〔4〕〔RETURN〕あるいは〔4〕〔8〕〔RETURN〕で入力して下さい。

測定は 24時間モード/48時間モードですか

Input mode( 24 or 48 )?

図 7

### 3-4 患者情報

図7の表示でモードを入力すると、図8のように患者情報の入力表示となります。それぞれ〔名〕〔RETURN〕、〔M〕あるいは〔F〕〔RETURN〕、〔年齢〕〔RETURN〕、〔就寝時刻〕〔起床時刻〕〔RETURN〕で入力して下さい。

もう一度確認して、良ければ〔y〕〔RETURN〕を押して次に進み、誤りがあれば〔n〕〔RETURN〕を押して修正して下さい。

```
***** Patient information *****  
  
氏名: ?  
  
性別:  
(M/男 F/女)  
  
年齢:  
  
就寝時刻(1)~起床時刻(1): 00:00~00:00
```

図 8

### 3-5 データセレクトメニュー

図8の表示で入力が終わりに〔y〕〔RETURN〕を押すと、図9のように取り込むデータの種類を選択する表示となります。

```
*** データセレクト メニュー ***  
1... 血圧, 1分値データ  
2... 血圧, 1分値データ, RR間隔データ  
3... 全測定値データ  
[Q/quit]  
Select number =?
```

図 9

#### 3-5-1 血圧、1分値データ

血圧及びECG&環境の1分値データを取り込む時は、〔1〕〔RETURN〕を押して取り込みを開始します。

#### 3-5-2 血圧、1分値データ、RR間隔データ

2-5-1のデータの他にRR間隔データも取り込む時は、〔2〕〔RETURN〕を押して取り込みを開始します。

#### 3-5-3 全測定値データ

2-5-2のデータの他にイベントECGデータや12分間ECGスーパーインポーズデータも取り込む時は、〔3〕〔RETURN〕を押して取り込みを開始します。

〔Q〕〔RETURN〕を押すと、メインメニュー(図1)に戻ります。

※取り込みができない時は、もう一度プロセッサ(TM2025)とパソコンの接続を確認してやり直して下さい。

#### 4. データ処理

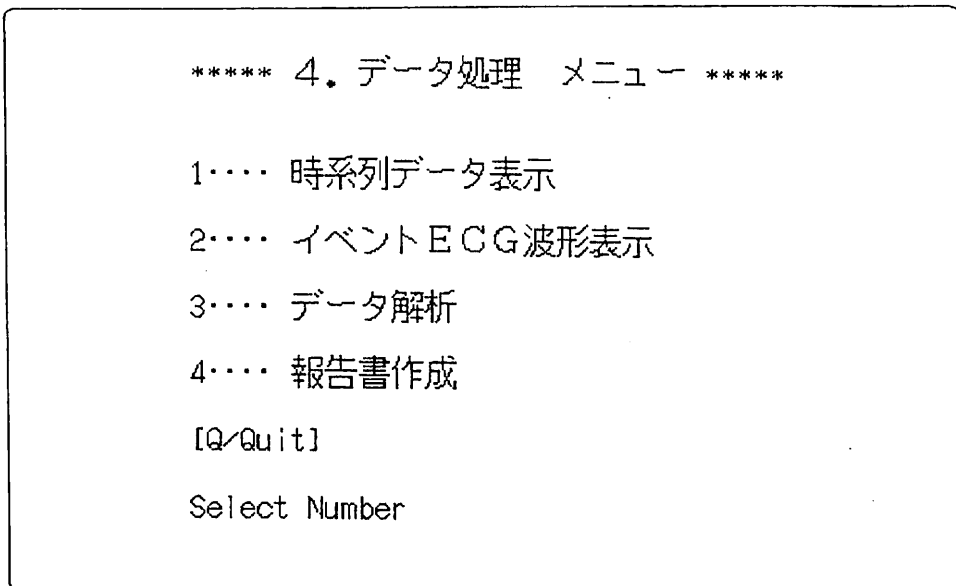


図 10

記録したデータファイルのデータを処理します。1～4またはQを入力してください。

##### 4-1 時系列データ表示

メニューで〔1〕を押すと「時系列データ処理メニュー」の表示になります。

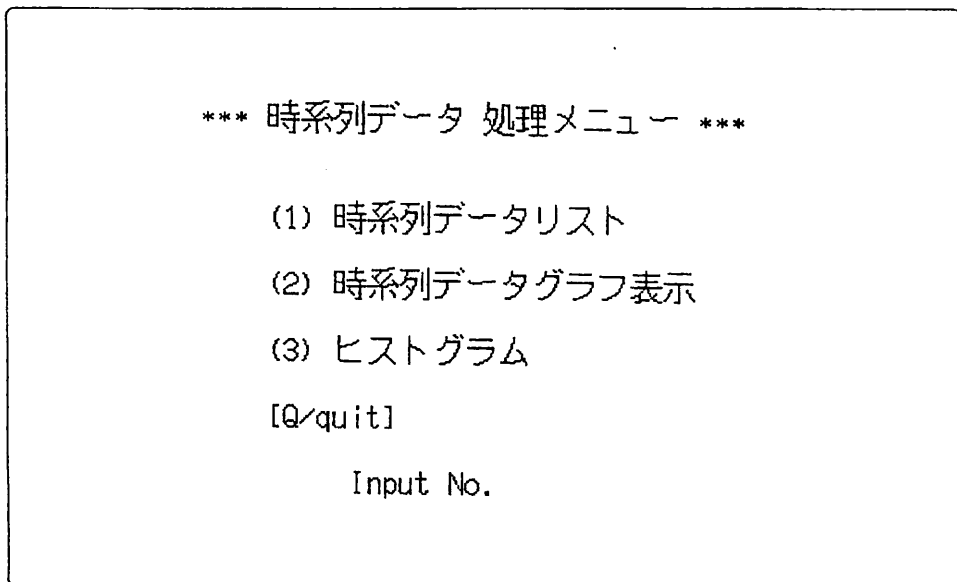


図 11

4-1-1 時系列データリスト

図11の表示で〔1〕を押すと、図12のように血圧データのテーブル表示をします。

血圧データリスト (オシロメトリック法)						
NO.	DATE	TIME	SYS ... [mmHg] ..	DIA	PUL [bpm]	ERR MESSAGE
1	5/3	13:11	127	81	89	—
2	5/3	13:20	122	71	94	—
3	5/3	13:30	124	62	83	—
4	5/3	13:40	119	76	92	—
5	5/3	13:50	123	77	100	—
6	5/3	14:00	125	79	97	—
7	5/3	14:10	147	95	97	—
8	5/3	14:20	136	81	97	—
9	5/3	14:30	121	81	100	—
10	5/3	14:40	120	67	83	—
11	5/3	14:50	120	70	87	—
12	5/3	15:00	124	82	100	—
13	5/3	15:10	123	78	97	—
14	5/3	15:20	134	87	92	—
15	5/3	15:30	118	76	100	—
16	5/3	15:40	118	76	77	—
17	5/3	15:50	124	76	79	—
18	5/3	16:00	132	85	89	—
19	5/3	16:10	116	74	77	—
20	5/3	16:20	123	79	85	—

HOME:オシロメトリック測定モード切り替え  
 ←→:画面切り替え ↑↓:スクロール space:番号指定 Esc:メニュー

図 1 2

〔DATE:測定日 TIME:測定時間 SYS:収縮期血圧 DIA:拡張期血圧  
 PUL:脈拍数 ERR:エラーコード MESSAGE:補完の有無〕

○判定法の切り替え

〔HOME〕を押すと、オシロメトリック法とコロトコフ音法のデータの切り替えをします。(図13)

NO.	DATE	TIME	血圧データリスト (			コロトコフ音法 )	
			SYS ... [mmHg] ...	DIA	PUL [bpm]	ERR	MESSAGE
1	5/3	13:11	129	67	87	--	
2	5/3	13:20	117	71	91	--	
3	5/3	13:30	118	72	81	--	
4	5/3	13:40	116	69	90	--	
5	5/3	13:50	113	68	95	--	
6	5/3	14:00	122	73	95	--	
7	5/3	14:10	146	91	95	--	
8	5/3	14:20	127	70	94	--	
9	5/3	14:30	130	75	96	--	
10	5/3	14:40	123	64	81	--	
11	5/3	14:50	121	69	85	--	
12	5/3	15:00	127	74	97	--	
13	5/3	15:10	128	68	94	--	
14	5/3	15:20	140	71	87	--	
15	5/3	15:30	141	65	98	--	
16	5/3	15:40	120	75	76	--	
17	5/3	15:50	123	74	76	--	
18	5/3	16:00	113	76	84	--	
19	5/3	16:10	122	74	75	--	
20	5/3	16:20	115	74	84	--	

HOME:オシロメトリック-コロトコフ切り替え  
 ←→:画面切り替え ↑↓:スクロール space:番号指定 ESC:メニュー

図 13

○画面切り替え

〔←〕〔→〕を押すと、血圧データリストとECG&環境データリストの切り替えをします。(図14)

ECG&環境データリスト									
NO.	DATE	TIME	H.R. [bpm]	ACT [G]	POSI	TEMP [°C]	UPC [回]	ST [μV]	RR50 [回]
1	5/3	13:12	94	0.01	1	28.9	0	20.4	2
2	5/3	13:13	90	0.01	1	29.2	0	66.8	0
3	5/3	13:14	99	0.10	1	28.4	0	62.7	1
4	5/3	13:15	99	0.03	1	28.7	0	65.2	2
5	5/3	13:16	100	0.03	1	28.7	0	69.6	5
6	5/3	13:17	103	0.01	1	29.2	0	58.7	0
7	5/3	13:18	97	0.02	0	28.7	0	56.5	0
8	5/3	13:19	97	0.01	0	28.6	0	51.3	2
9	5/3	13:20	95	0.00	0	28.6	0	69.9	4
10	5/3	13:21	92	0.00	0	28.4	0	65.1	0
11	5/3	13:22	94	0.01	0	28.4	0	60.8	0
12	5/3	13:23	92	0.01	0	28.3	0	67.0	1
13	5/3	13:24	91	0.01	0	28.4	0	69.5	0
14	5/3	13:25	95	0.01	0	28.4	0	64.1	1
15	5/3	13:26	92	0.00	0	28.4	0	66.0	3
16	5/3	13:27	90	0.00	0	28.4	0	67.7	2
17	5/3	13:28	92	0.01	0	28.4	0	71.1	2
18	5/3	13:29	92	0.01	0	28.6	0	76.9	5
19	5/3	13:30	90	0.00	0	28.9	0	62.1	7
20	5/3	13:31	86	0.01	0	28.9	0	64.7	18

←→ : 画面切り替え    ↑↓ : スクロール    space : 番号指定    Esc : メニュー

図 14

〔DATE〕: 測定日    〔TIME〕: 測定時間    H.R.: 心拍数    ACT: 加速度  
 POSI: 体位 (0: 座位、1: 立位)    TEMP: 気温    ST: STレベル  
 VPC: 不整脈・RR間隔法    RR50: 不整脈・RR間隔法

○スクロール

〔↑〕〔↓〕を押すと、データリストがスクロールします。

○番号指定

〔Spaceバー〕を押すと図15のようになり、任意のデータ番号を〔数〕  
 〔RETURN〕で入力することによりその番号からのデータをリスト表示します。

血圧データリスト (オシロメトリック法)							
NO.	DATE	TIME	SYS ... [mmHg] ...	DIA	PUL [bpm]	ERR	MESSAGE
1	5/3	13:11	127	81	89	—	
2	5/3	13:20	122	71	94	—	
3	5/3	13:30	124	62	83	—	
4	5/3	13:40	119	76	92	—	
5	5/3	13:50	123	77	100	—	
6	5/3	14:00	125	79	97	—	
7	5/3	14:10	147	95	97	—	
8	5/3	14:20	136	81	97	—	
9	5/3	14:30	121	81	100	—	
10	5/3	14:40	120	67	83	—	
11	5/3	14:50	120	70	87	—	
12	5/3	15:00	124	82	100	—	
13	5/3	15:10	123	78	97	—	
14	5/3	15:20	134	87	92	—	
15	5/3	15:30	118	76	100	—	
16	5/3	15:40	118	76	77	—	
17	5/3	15:50	124	76	79	—	
18	5/3	16:00	132	85	89	—	
19	5/3	16:10	116	74	77	—	
20	5/3	16:20	123	79	85	—	

HOME:オシロメトリックモード切り替え  
 ←→:画面切り替え ↑↓:スクロール space:番号指定データNO.:

図 15

○テーブル表示の終了

[ESC]を押すとテーブル表示が終了し、メニュー画面(図11)に戻ります。

※血圧データリストの「MESSAGE」にあるアスタリスク「\*」は、オシロメトリック法及びコトコフ音法の互いのデータで補完してあることを意味しています。

#### 4-1-2 グラフ表示メニュー

図11の表示で[2]を押すと、図16のように「グラフ表示メニュー」となります。

\*\*\* グラフ表示 メニュー \*\*\*

(1) 選択データを表示

(2) 全てのデータを表示

[Q/quit]

Input No.

図 16



4-1-2-1 選択グラフメニュー

図16の表示で〔1〕を押すと、図17のように「選択グラフメニュー」  
となります。

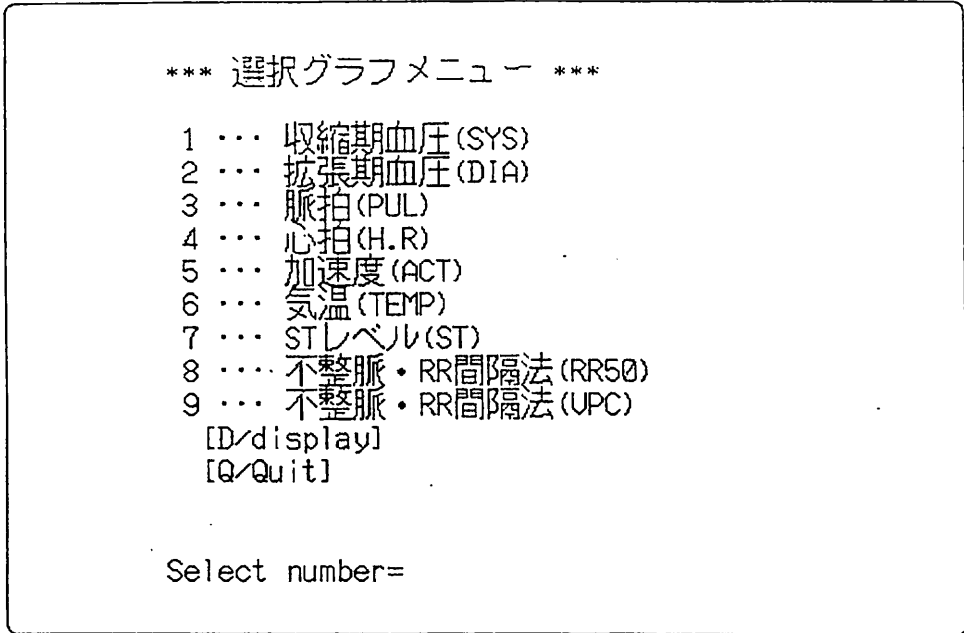
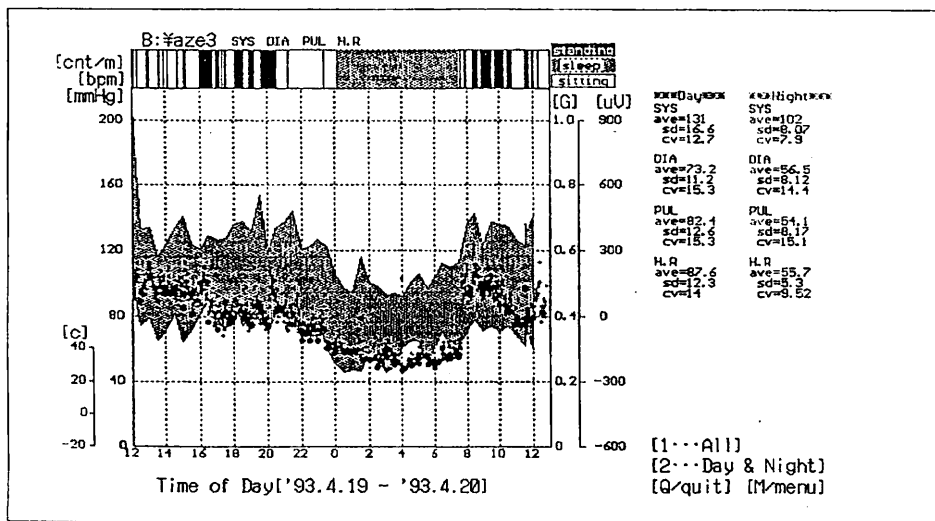


図 1 7

ここで必要とする項目について数字で〔項目No〕〔RETURN〕と押して選択し  
 (複数の選択が可能)、決定したら〔d〕〔RETURN〕を押して実行します。(図  
 18)



選択メニューの1~4を選択した場合 図 18-1

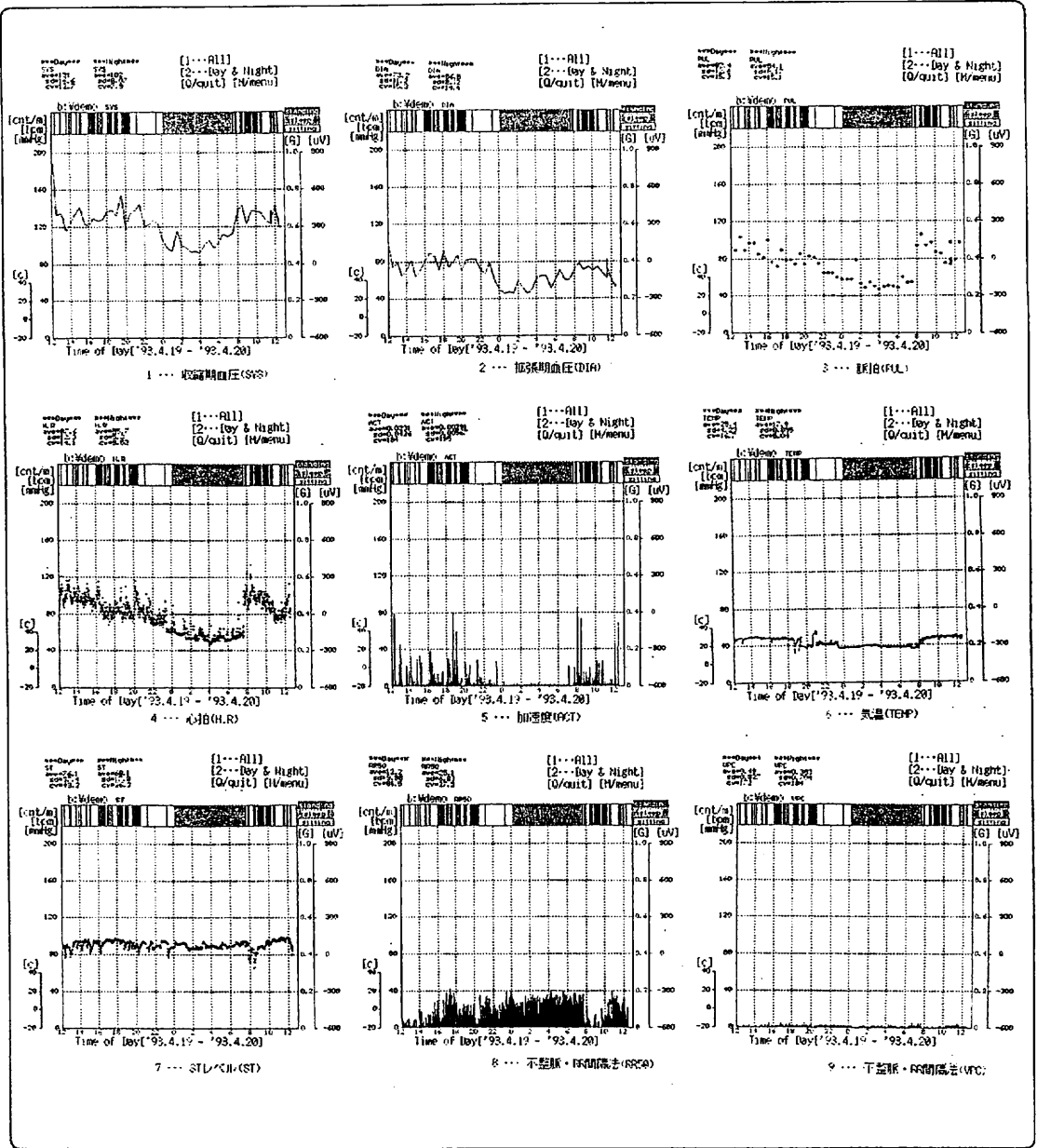


図 18-2

選択グラフメニューの1~9の表示例一覽

[ave: 血圧平均値 sd: 標準偏差 cv: 標準誤差率  
 (1...All): 1日に対するave、sd、cv  
 (2...Day & Night): 昼夜それぞれに対するave、sd、cv]  
 Night: 患者情報で入力された睡眠時刻です。

◎他のデータの選択表示

図18の表示で〔M〕を押すと図17の「選択グラフメニュー」に戻り、他のデータについて選択表示することができます。

◎選択データ表示の終了

図18の表示で〔Q〕を押すと、図16の「グラフ表示メニュー」に戻ります。

○選択グラフメニューの終了

図17の表示で〔Q〕〔RETURN〕を押すと、選択グラフメニューは終了し図16の「グラフ表示メニュー」に戻ります。

4-1-2-2 全てのデータを表示

図16の表示で〔2〕を押すと、図19のように全てのデータについてグラフ表示します。

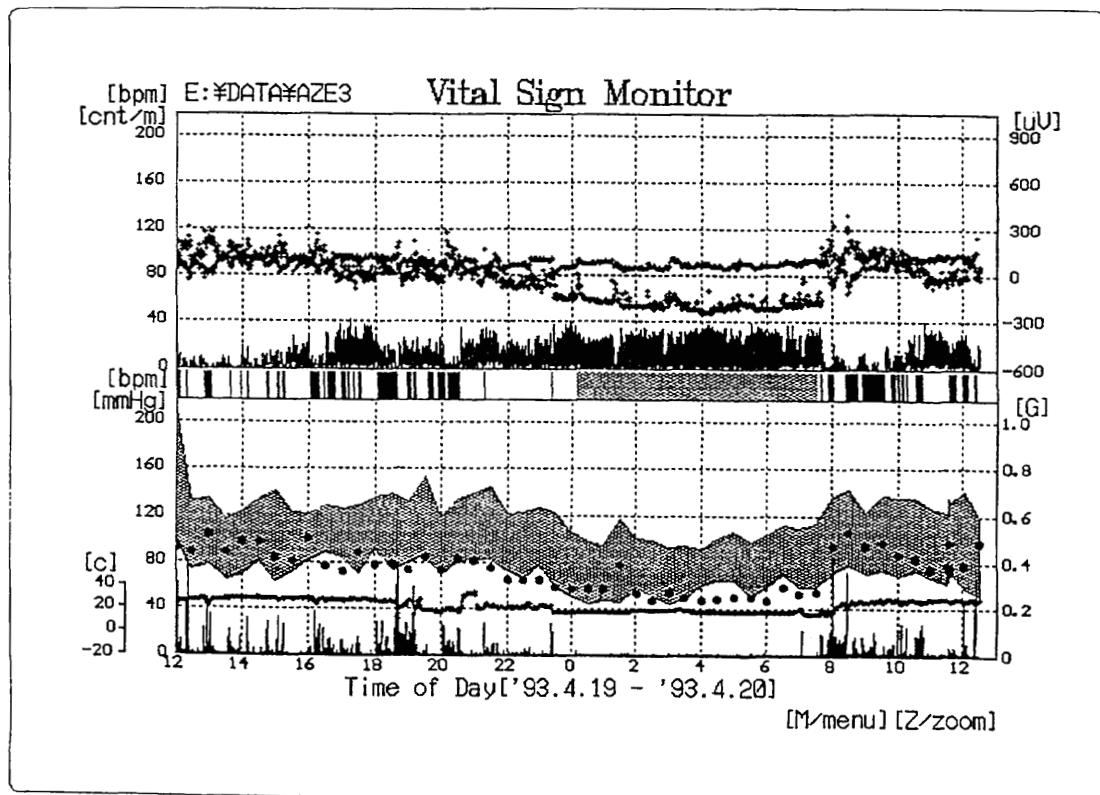


図 19

○特定部分の拡大表示（ズーム）

図19の表示で〔Z〕を押すと図20のような表示になり、赤いカーソルが加わります。

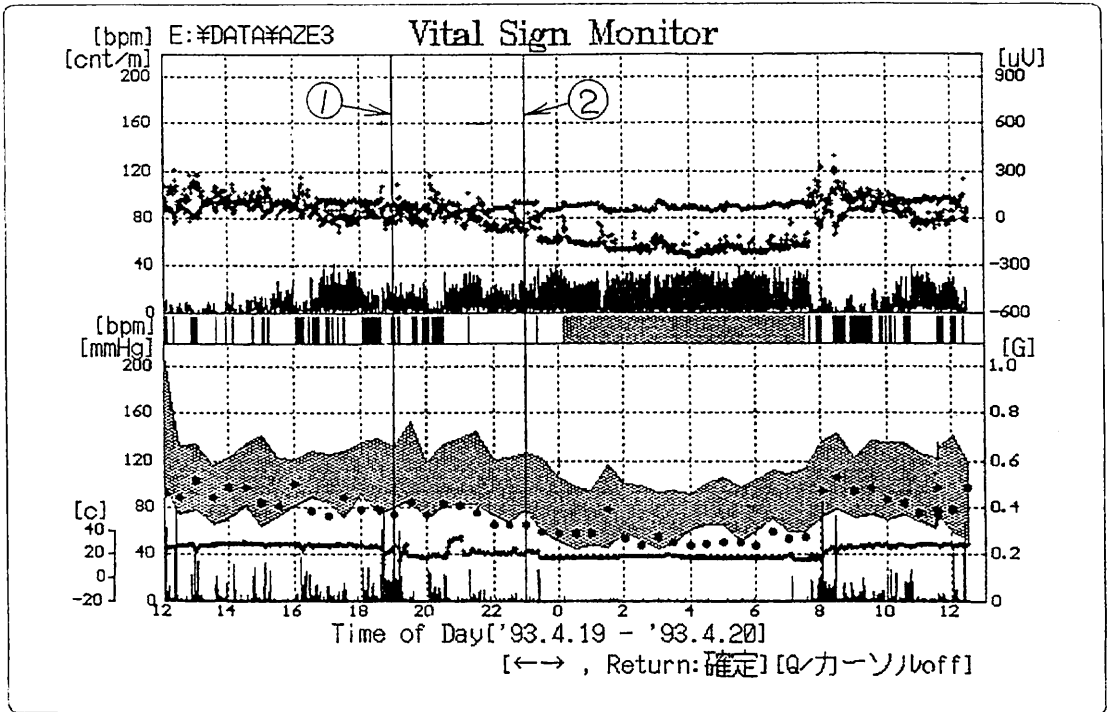


図 20

〔←〕〔→〕を押してカーソルの位置を移動させ、〔RETURN〕を押して図20中の①のカーソル位置を決定します。次に〔←〕〔→〕を押して②のカーソルを移動させ、〔RETURN〕を押すと①-②の範囲について拡大表示します。（図21）

〔Q〕を押すとカーソルは消え、図19の表示に戻ります。

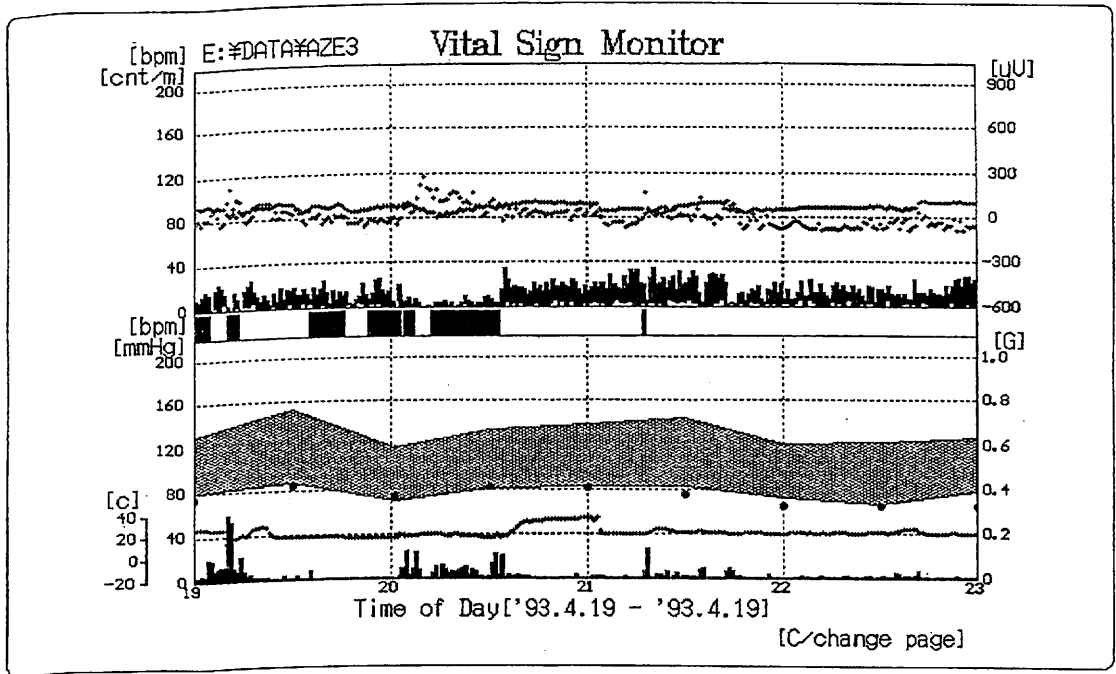


図 2 1

図 2 1 の表示で〔C〕を押すと図 2 2 の表示に切り替わり、拡大部分の設定のやり直しができます。

なお図 2 2 の表示で〔C〕を押すと先に表示した拡大グラフ（図 2 1）に切り替わります。

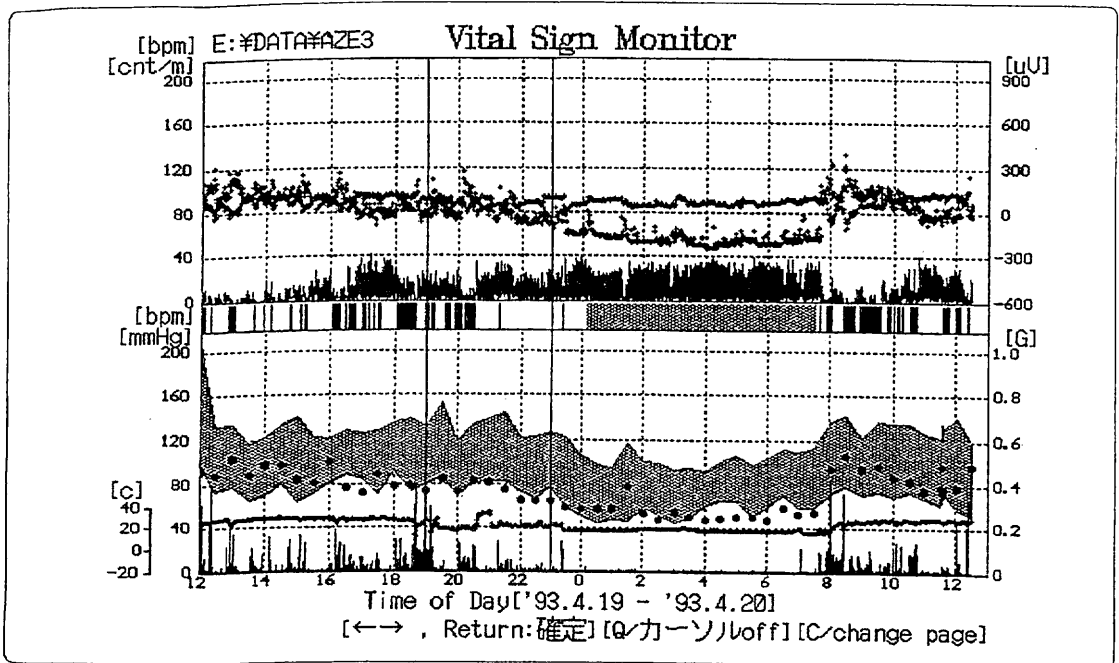


図 2 2

○全データグラフ表示の終了

図19の表示で〔M〕を押すと、全データグラフ表示は終了し図16の「グラフ表示メニュー」に戻ります。

4-1-2-3 グラフ表示の終了

図16の表示で〔Q〕を押すと、「グラフ表示メニュー」が終了しメニュー画面（図11）に戻ります。

4-1-3 ヒストグラム

図11の表示で〔3〕を押すと、図23の「選択メニュー」となります。

```

*** 選択メニュー ***

1 ... 収縮期血圧 (SYS)
2 ... 拡張期血圧 (DIA)
3 ... 脈拍 (PUL)
4 ... 心拍 (H.R)
5 ... 加速度 (ACT)
6 ... 気温 (TEMP)
7 ... STレベル (ST)
8 ... 不整脈・RR間隔法 (RR50)
9 ... 不整脈・RR間隔法 (UPC)
10 ... 体位 (Positon)

[D/display]
[Q/Quit]

Select number=
    
```

図 23

ここで必要とする項目について数字で〔項目No〕〔RETURN〕と押して選択し（複数の入力が可能）、決定したら〔d〕〔RETURN〕を押して実行します。（図24）

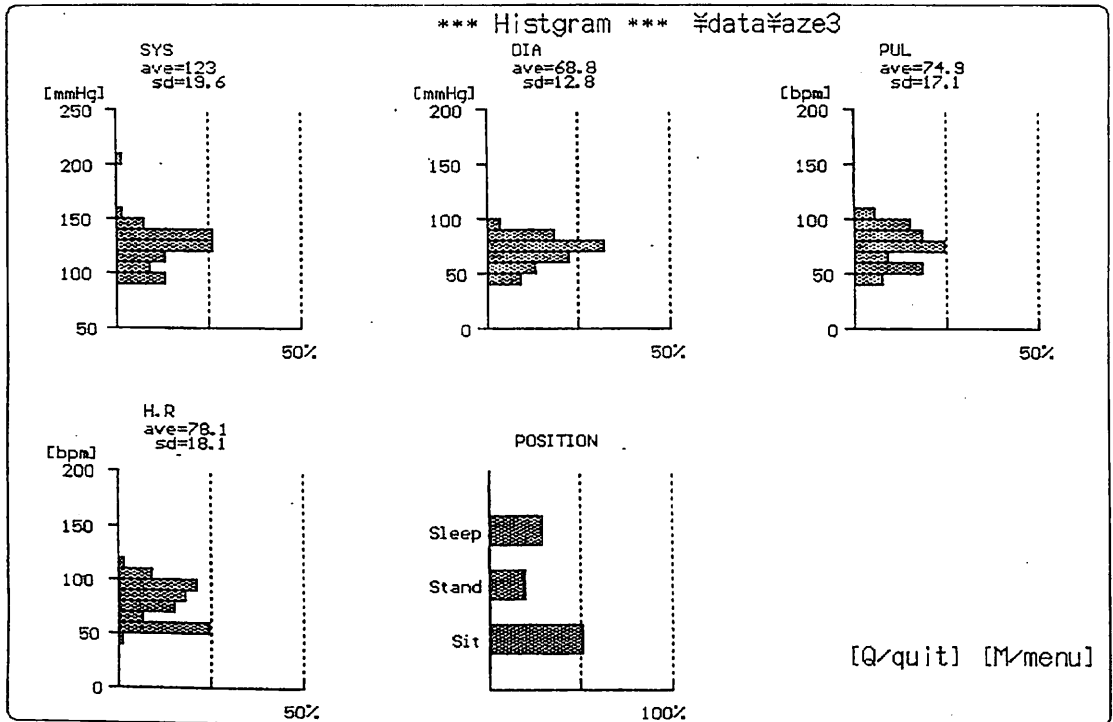


図 24

◎他のデータの選択表示

図24の表示で〔M〕を押すと図23の「選択メニュー」に戻り、他のデータについて選択表示することができます。

◎ヒストグラム表示の終了

図24の表示で〔Q〕を押すと、ヒストグラム表示が終了しメニュー画面（図11）に戻ります。

○選択メニューの終了

図23の表示で〔Q〕〔RETURN〕を押すと、「選択メニュー」が終了しメニュー画面（図11）に戻ります。

4-1-4 データ表示の終了

図11の表示で〔Q〕を押すと、データ処理メニュー（図10）に戻ります。

4-2 イベントECG波形表示

パソコン上に取り込まれたイベント入力ECGデータの波形表示をします。

☆操作手順

4-2-1 イベントECG波形表示の起動

データ処理メニュー（図10）で〔2〕を押すと、図25のようにイベントデータの選択となります。24時間測定モードでは最大4回、48時間測定モードでは最大1回のイベント入力されたECGデータが存在します。イベント入力時のエピソードを選択して下さい。

Select Event Number ( 1 - 4 )

図25

〔Q〕を押すとデータ処理メニューに戻ります。



4-2-2 心電波形の表示(24時間測定モード)

図25の表示で1~4の任意のデータ番号を選択して〔イベントNo〕を押すと、図26のような心電波形が表示されます。

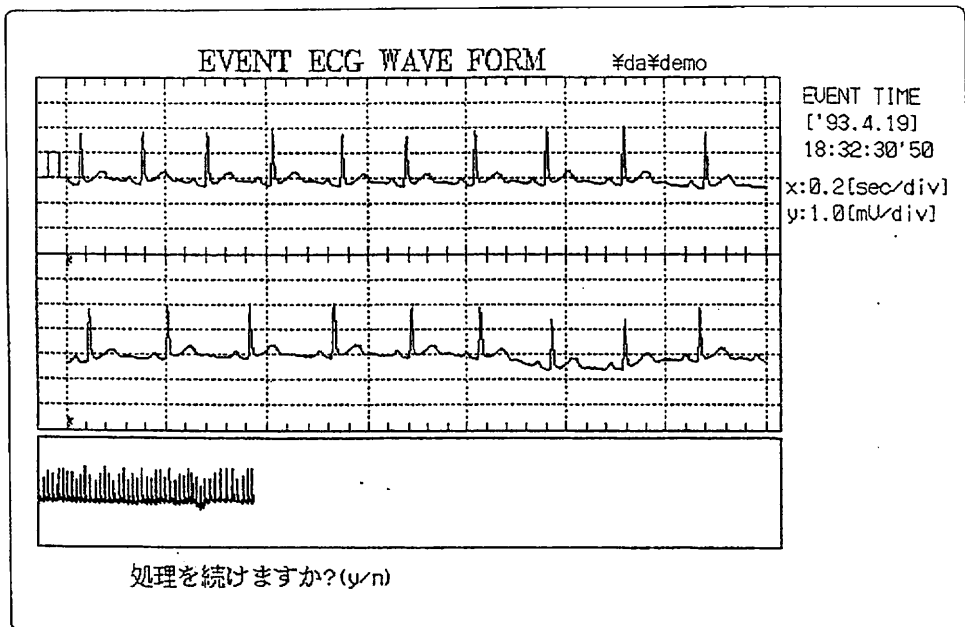


図 26

○イベント心電波形表示の一時中断

図26の表示で〔Anykey〕(任意のkey)を押すと、処理が一時中断し図27のような表示になります。

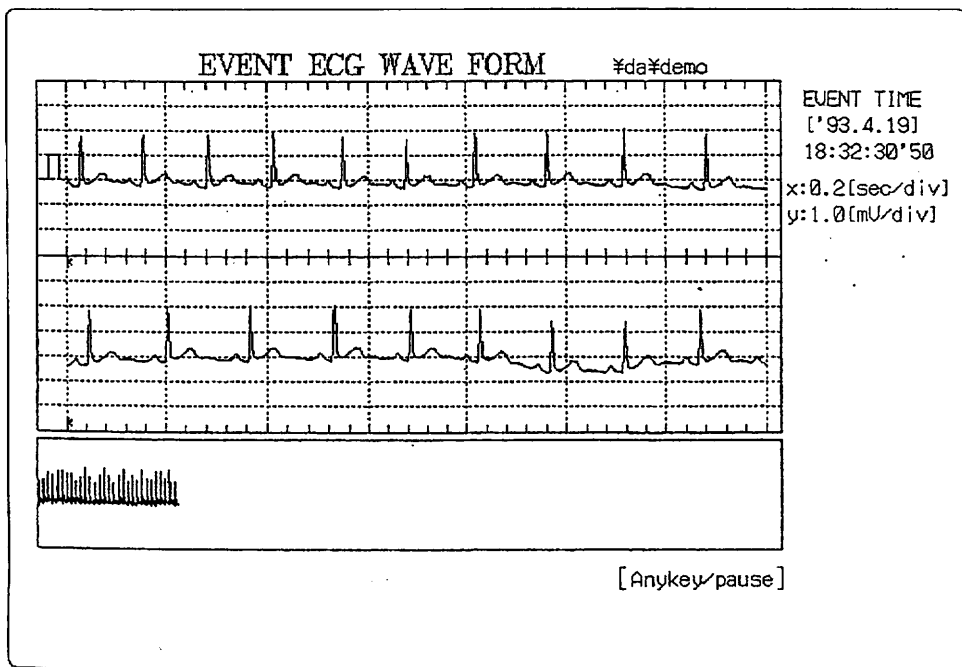


図 27

◎ イベント心電波形表示の継続及び終了

図 27 の表示で〔Y〕を押すと処理は再び継続され、〔N〕を押すと途中終了しデータ処理メニューに戻ります。

○ 心電波形の全表示（24時間測定モード）

処理が最後までされると図 28 のような表示になります。

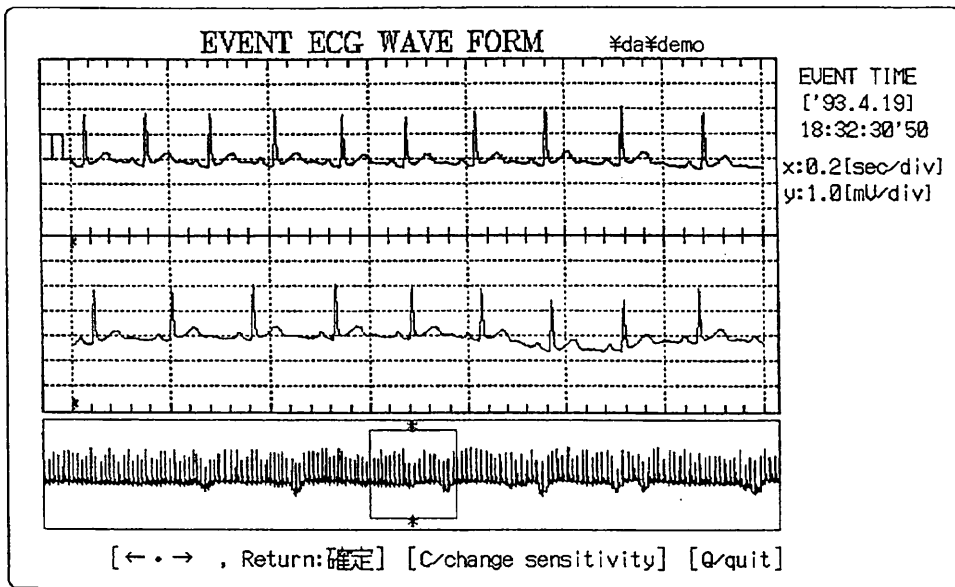


図 28

※画面下部にイベント入力された心電図の圧縮波形、上部にカーソル中の心電図の通常表示をします。

イベントSWが押された日時とそのポイントが圧縮心電図中の”\*”で指示されます。

○ 心電波形の拡大

図 28 の表示で〔←〕〔→〕を押してカーソルの位置を変え、任意の時間における心電波形を拡大して見ることができます。

※カーソルは〔4〕〔6〕で飛び飛びに大きく移動し、〔1〕〔3〕で微小移動します。

○心電波形の振幅倍率の変更

図28の表示で[C]を押すと、図29のように波形の右側に「Sensitivity」の項目が表示されます。

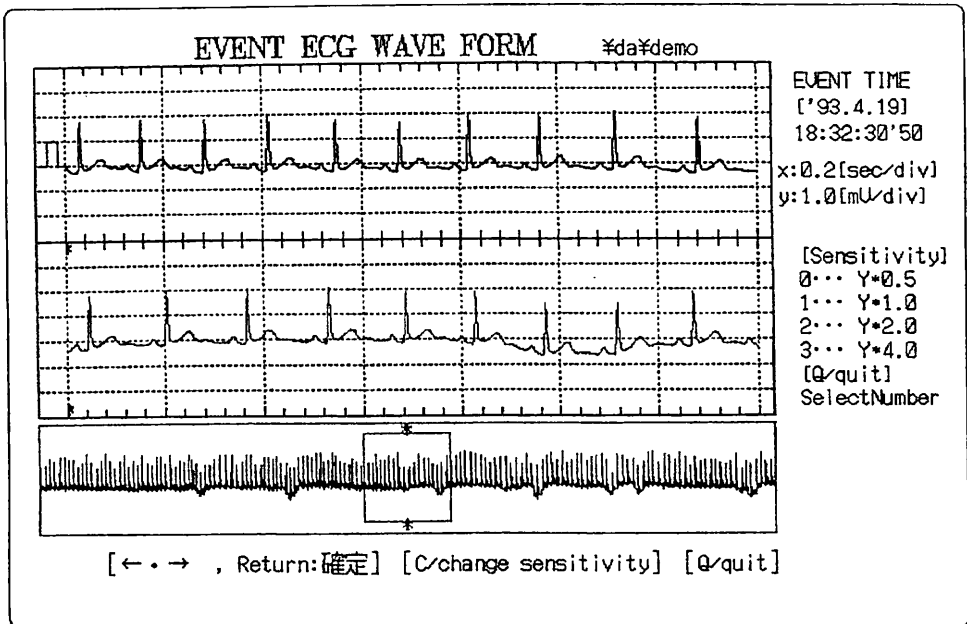


図 29

0~3の数値で[項目No]を押して選択すると、拡大波形の振幅が変化して表示されます。(図30[2...Y\*2.0の場合])

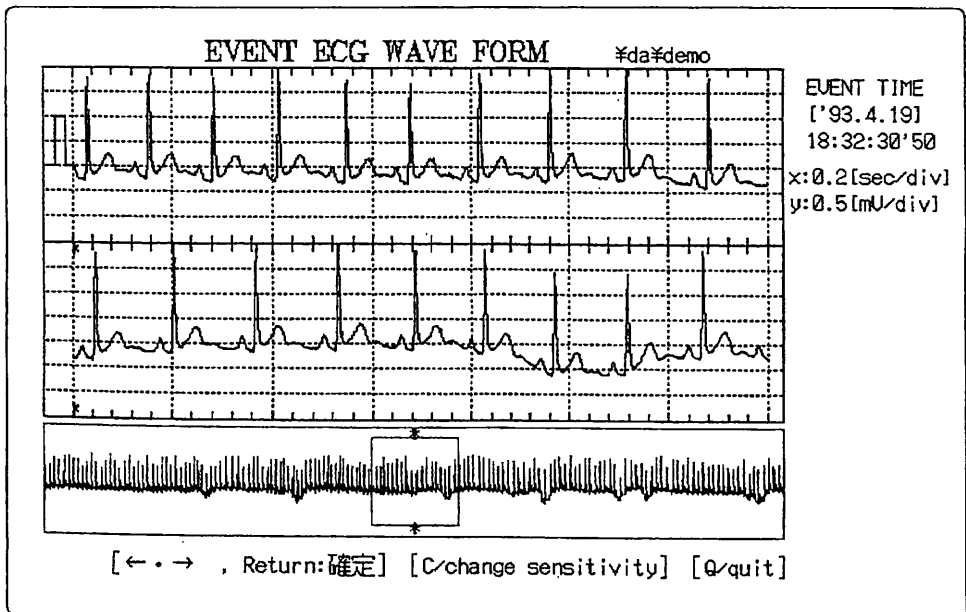


図 30

○イベントECG波形表示の終了

波形表示中に〔Q〕を押すと、波形表示を終了しデータ処理メニュー（図10）に戻ります。

#### 4-2-3 心電波形の表示（48時間モード）

図25の表示で〔1〕を押すと、図31のような心電波形が表示されます。

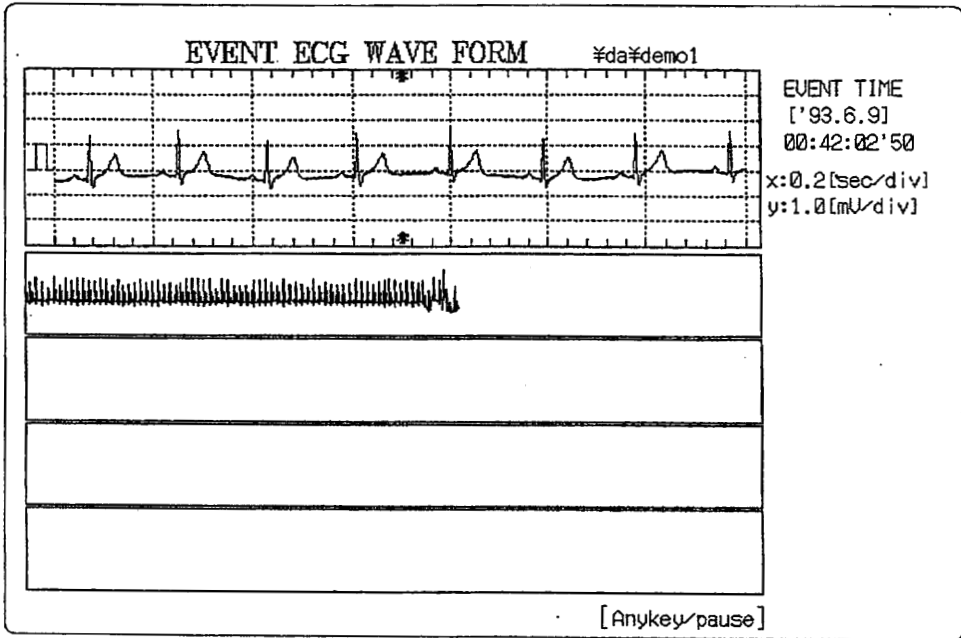


図 3 1

処理が最後までされると図32のようになり、諸操作については24時間測定モードと全く同じです。

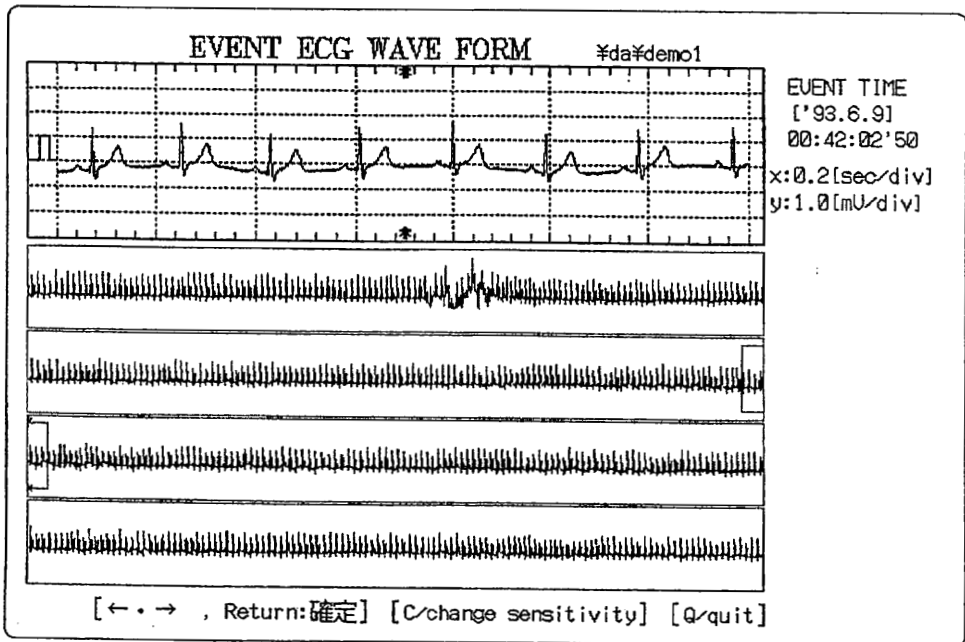


図 3 2

- 4-3 データ解析  
パソコン上に取り込まれたECGデータの解析をします。

☆操作手順

- 4-3-1 ECGデータ解析の起動  
メニュー（図10）で〔3〕を押すと、図33のようにECGデータ解析メニューとなります。

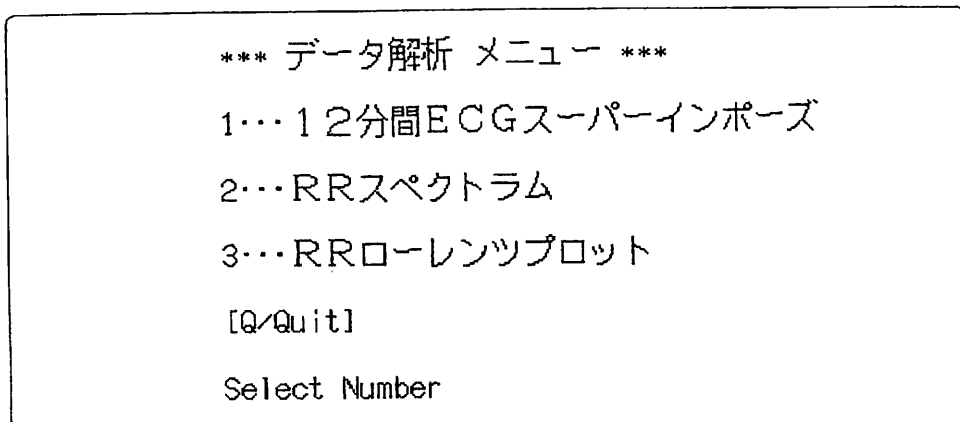


図 33

ECGデータ解析の終了  
図33の表示で〔Q〕を押すと、データ処理メニュー（図10）に戻ります。

- 4-3-1-1 12分間ECGスーパーインポーズ  
図33の表示で〔1〕を押すと、図34のように1時間ごとに自動測定された心電図波形（24時間測定モードでは30秒間48時間モードでは15秒間）を重量表示します。

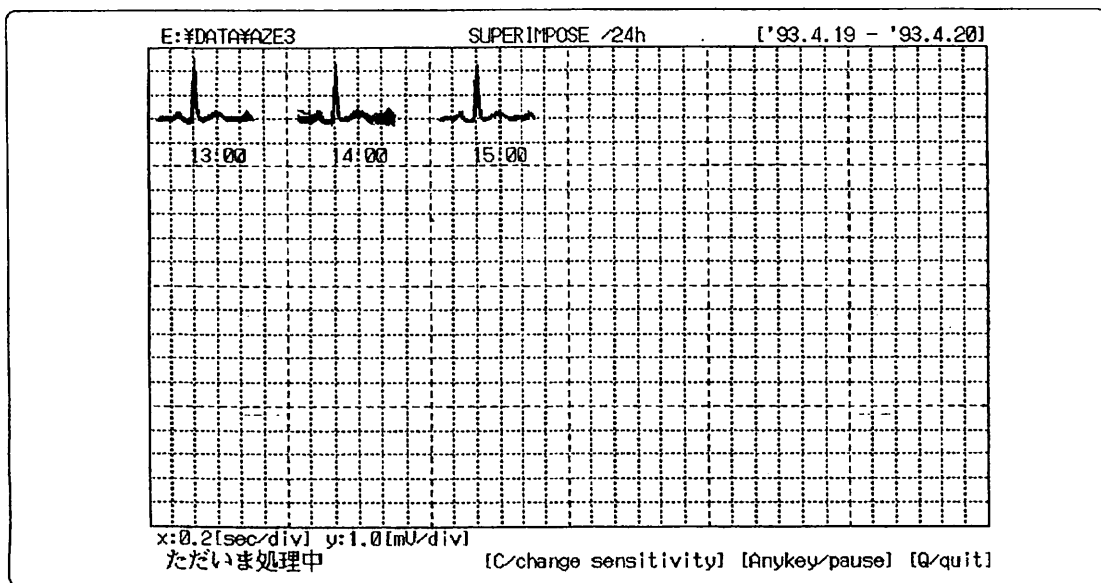


図 34

○心電波形の振幅倍率の変更

図34の表示で〔C〕を押すと、図35のように図の中央に「Sensitivity」の項目が表示されます。

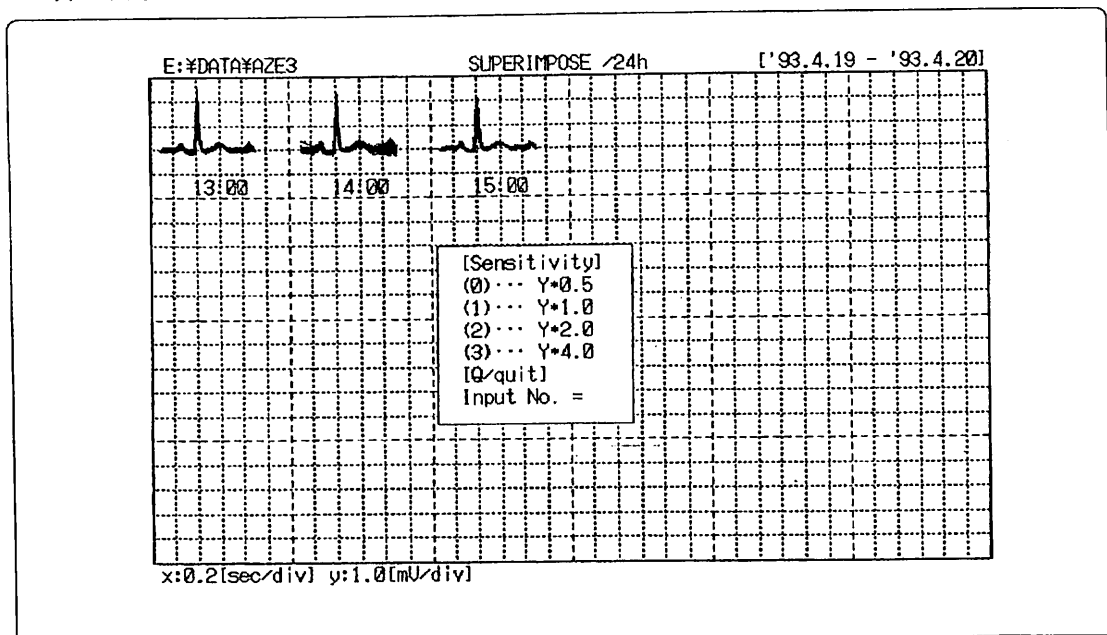


図 3 5

0～3の数で〔項目No〕を選択すると、心電図波形の振幅が変わります。

○スーパーインポーズ処理の一時中断

図35の表示で〔Anykey〕（Anykey:「C」や「Q」など意味を持つKey以外のKey）を押すと、処理が一時中断し図36のような表示になります。

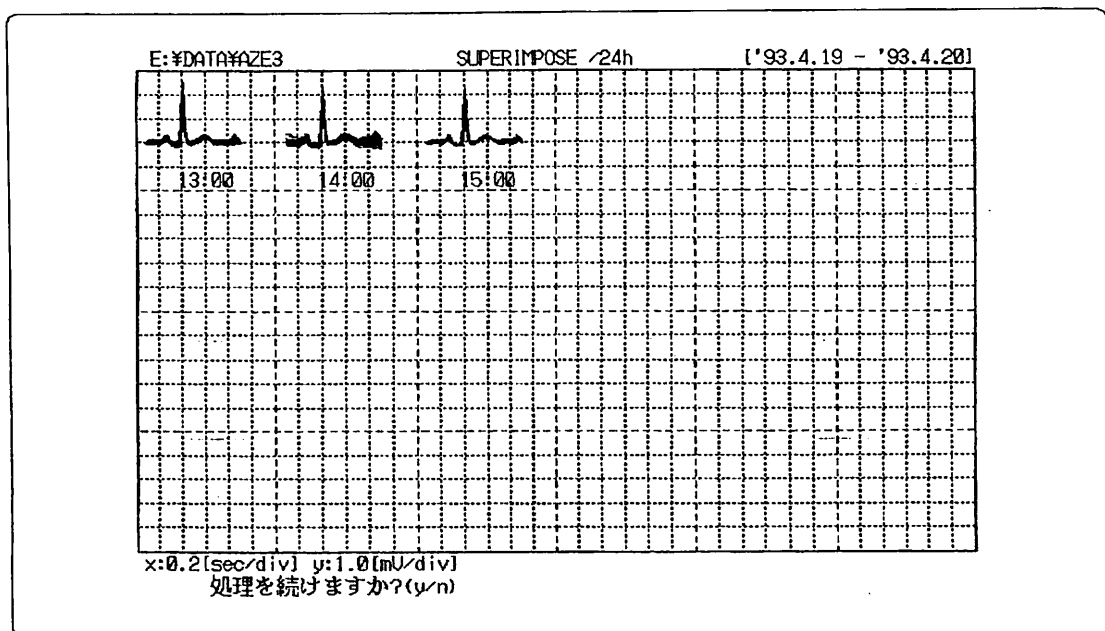


図 3 6

- ◎スーパーインポーズ処理の継続及び終了  
 図36の表示で〔Y〕を押すと処理は再び継続され、〔N〕を押すと途中終了し図37のような表示になります。

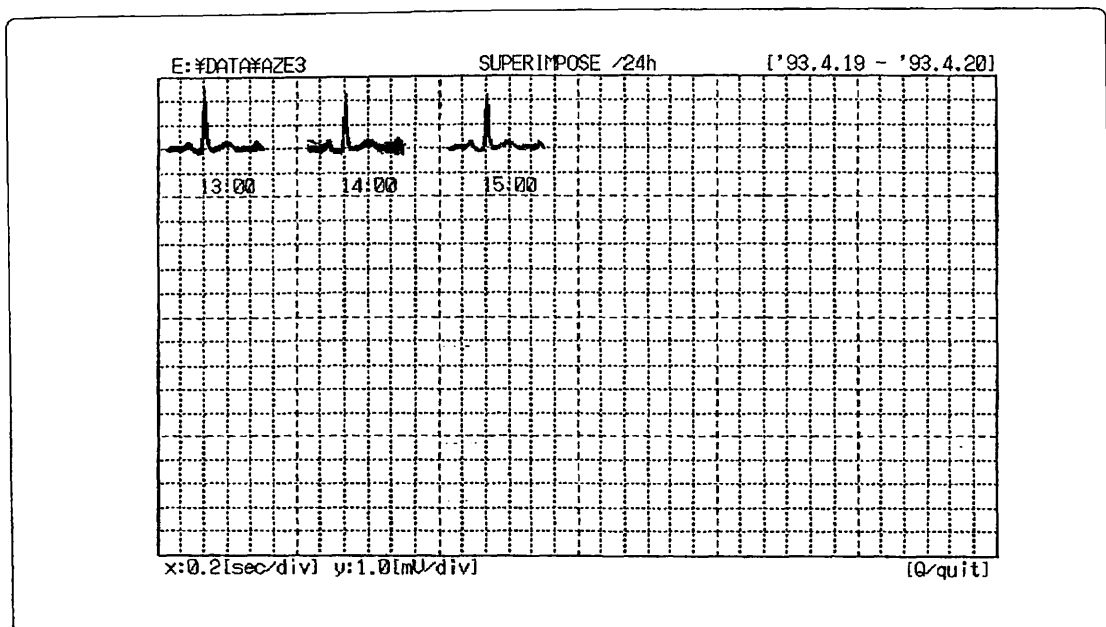


図 3 7

- ◎12分間ECGスーパーインポーズの終了  
 図37の表示で〔Q〕を押すと、図33の「データ解析メニュー」に戻ります。

- スーパーインポーズの全表示  
 処理が最後までされると図38のような表示になります。

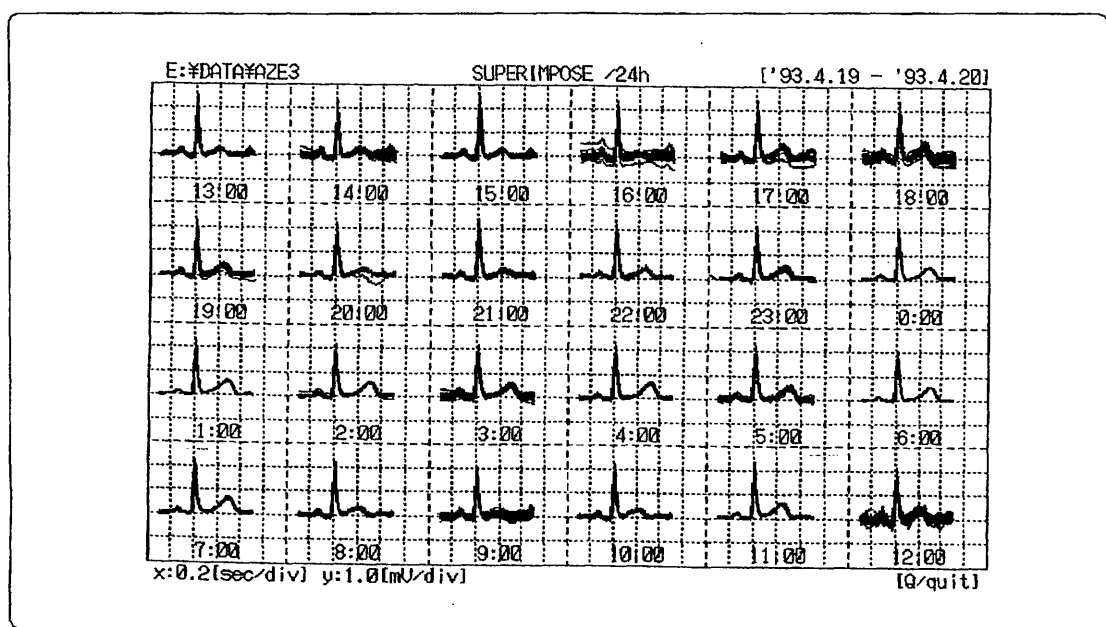


図 3 8

- ◎ 12分間 ECG スーパーインポーズの終了  
図 38 の表示で [Q] を押すと、図 33 の「データ解析メニュー」に戻ります。
- 48時間モードにおけるスーパーインポーズ表示  
データが48時間モードの時、全ての処理が終了すると図 39 のようになります。  
なお図上の②は「2日目」を意味しています。

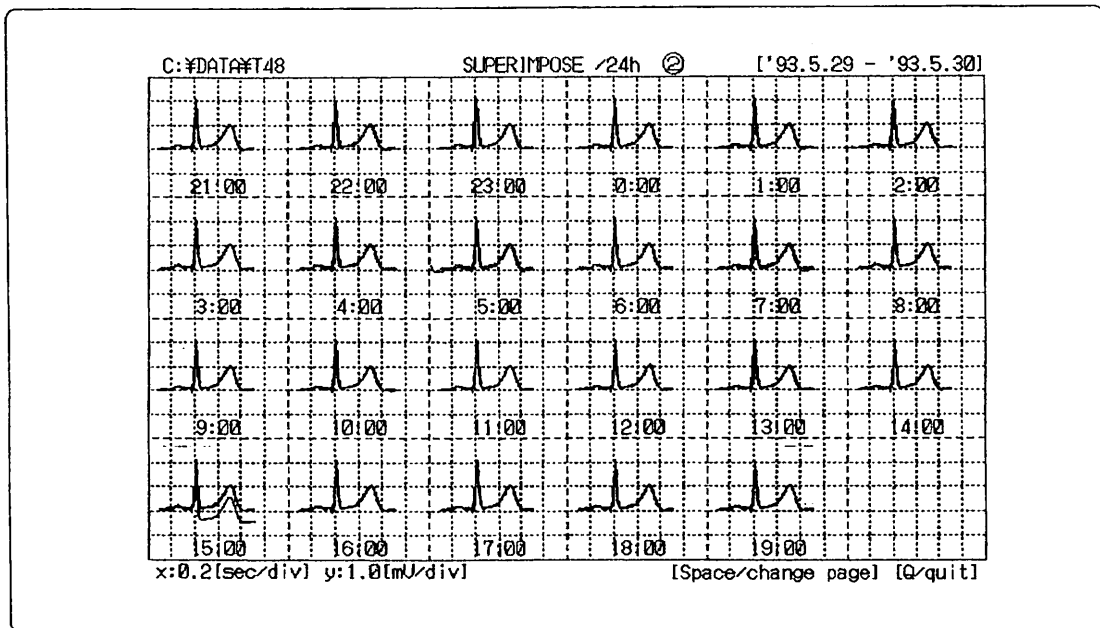


図 39

- ◎ 1日目と2日目の切り替え表示  
図 39 の表示で [Spaceバー] を押すと、図 40 のように「1日目」の表示に切り替わります。

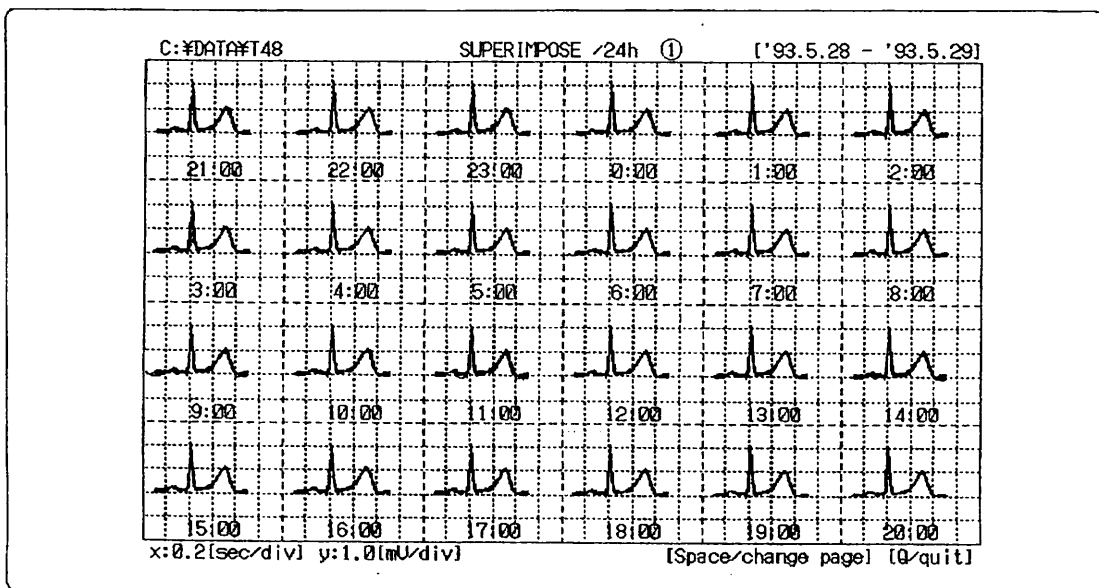


図 40



○スーパーインポーズ処理の終了

図34の表示で〔Q〕を押すと、処理は終了し図37のような表示になります。

#### 4-3-1-2 RRスペクトラム

30分毎に自動測定によって得られた512点のRR間隔についてRR間隔のスペクトラムをトレンド表示します。

図33の表示で〔2〕を押すと、図41のようにR-R間隔より得られたデータのパワースペクトルを表示します。

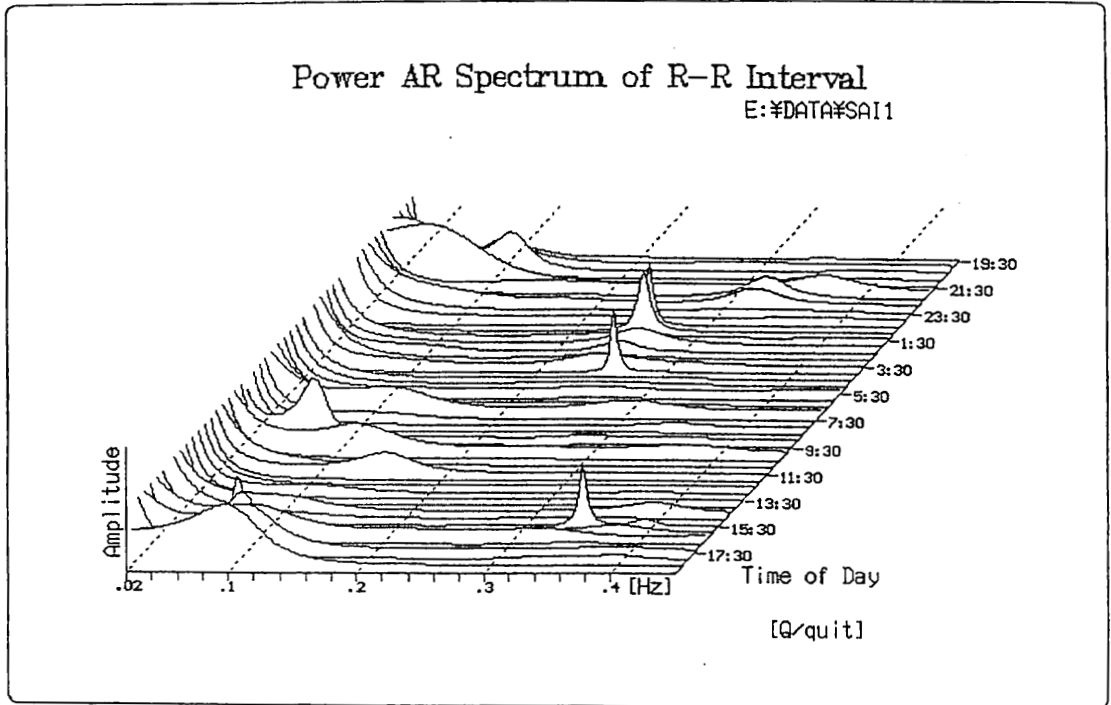


図 4 1

○RRスペクトラムの終了

図41の表示で〔Q〕を押すと、図33の「データ解析メニュー」に戻ります。

#### 4-3-1-3 RRローレンツプロット

図33の表示で〔3〕を押すと、図42のようにR-R間隔データのローレンツプロット表示をします。

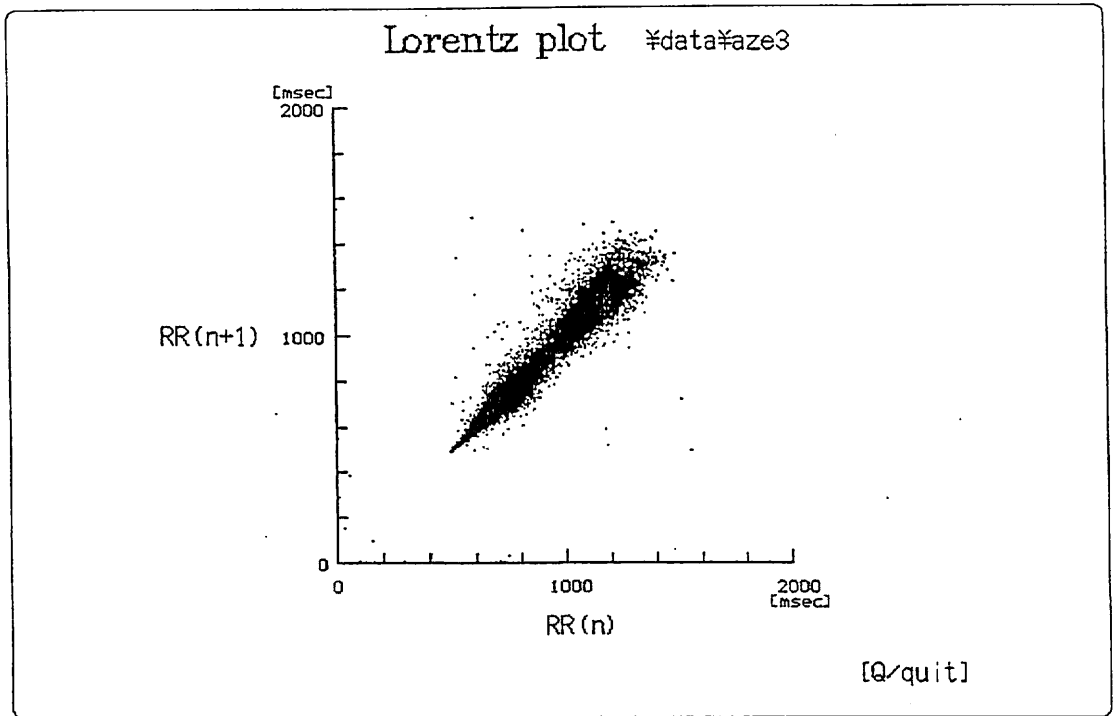


図 4 2

#### ○RRローレンツプロットの終了

図42の表示で〔Q〕を押すと、図33の「データ解析メニュー」に戻ります。

#### 4-3-1-4 ECGデータ解析の終了

図33の表示で〔Q〕を押すと、データ処理メニュー（図10）に戻ります。



〔RETURN〕を押すと設定が決定され、図43のメニュー画面に戻ります。

4-4-3 プリントアウト

図43の表示で〔3〕を押すと、設定されたデータの印刷を実行します。

4-4-4 印刷の終了

図43の表示で〔Q〕を押すと、データ処理メニュー（図10）に戻ります。